

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

回答 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		活動内容や時間帯により支援場所の選択があってもよいとも思う。 年齢に応じて訓練のスペースがあればいい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			10人定員にあり、5名のスタッフを配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内はバリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スタッフの意見や要望をさらに取り入れ、業務改善に向けている。 日々の打ち合わせの中で支援の方向性も明確で共通理解されている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会より、評価を頂いている。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修出張への参加、法人内、職場内研修への参加で、資質向上が図られている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズの把握に努め、職員間で話し合い、半年ごとに個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談員と連携し、必要な情報を整理している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員の担当月が決まっており、チームでの立案の見通しが持ちやすい。毎日ミーティングの中で、活動について話あっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日で活動のプログラムを組んでいる。 季節に応じた内容や利用者に応じ工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇の課題はもう少し細やかな設定、工夫が必要。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別訓練を実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを行い、利用人数、活動内容の確認をしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の支援を振り返り、文章での申し送りも徹底している。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			話し合い、確認をしながらケース記録に反映している。	

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			地域交流の機会を増やしていきたい。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所と連携し、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加している。会議の内容を申し送り時に伝えている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			随時、学校側と連絡を取り合い、情報交換をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、対象の児童はいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			事業所内で、就学前の児童を対象に、療育訓練事業を実施している。希望のある保護者には情報提供をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行施設と連携を図りながら、情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		交流会の機会は設けていない。夏まつりは地域の方や子供達と交流する機会になっていると思う。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童発達支援部会があり、その会議に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎・お迎えの際、活動の様子を伝えている。連絡帳でやり取りをしたり、写真等を貼り、報告をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	児童の様子を保護者と共有しながら、悩みや課題について寄り添うことが出来るようにしている。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、重要事項説明を実施している。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば、話す時間を設けている。相談員にも入ってもらい、助言等もらっている。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者交流会としては設けていない。事業所のまつり時に保護者が集まる機会を設けている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決委員会を設けている。苦情解決処理要綱に則り対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		年1回会報は発行している。活動・予定等はその都度保護者にお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分に注意出来ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に配慮出来るよう伝達ツールを工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏まつりを開催し、地域の方を招待して交流の機会を設けている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			研修会に出席し正しい対応を学んでいる。それを職場内研修で周知出来るようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童を交えて年2回の避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止セルフチェックリストを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、対象の児童はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、対象の児童はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集は作成していなが、その都度小さな事でもスタッフ間で報告し合い、対応を考えている。記録も残したい。